

江田島きゅうりに2名の新規就農研修生

【平成29年3月7日掲載】

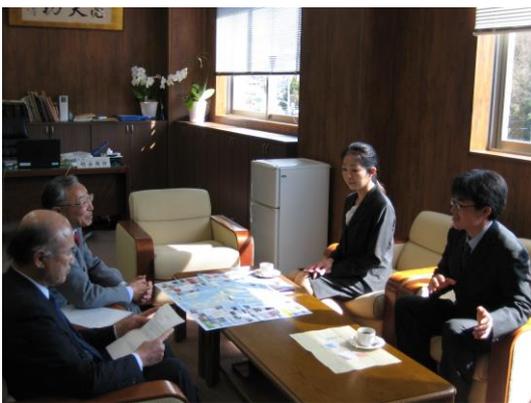
平成29年2月27日、江田島市役所において、江田島市新規就農研修生の認定証授与式が行われました。

市の研修第5期生の藤河山太郎（ふじかわさんたろう）（40歳）さんと第6期生の西尾未央（にしおみお）（35歳）さんは、特産のきゅうりについて研修し、修了後は江田島市内できゅうり栽培農家として、それぞれ平成30年と31年に就農予定です。研修の内容は、主に市の研修ハウス（12a）で江田島市きゅうり部会（山田隆見（やまだたかみ）部会長、部会員27名）による実地指導と、西部農業技術指導所などによる基本技術の座学です。

2人とも市外の出身ですが、農業での自立を目指して、それが実現できる支援制度があり、温暖な気候でもある江田島市を選んで、この研修事業に応募されました。

明岳周作（あきおかしゅうさく）市長は、「江田島市に就農される予定ということで歓迎します。しっかり勉強して、きゅうり産地を継承して行って欲しい。」と激励されました。

藤河さんは「この研修で栽培技術等を習得し、長年やりたいと思っていたきゅうり栽培をがんばりたい。江田島市は、自分に合っていると思う。」と答え、西尾さんも、「農業経験はありませんが、これから約2年間経験を積んで、将来は夫と2人で就農するのが楽しみです。」と話されています。



【市長、副市長と歓談する研修生】

情報提供元

西部農業技術指導所